

ベトナムの養鶏・鶏卵プラント メイン設備を受注

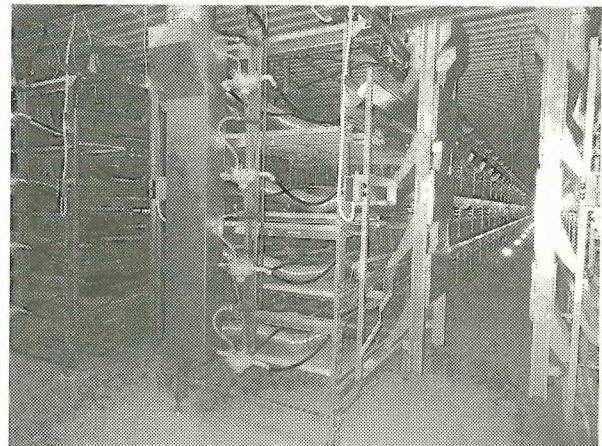
ハイテム

養鶏設備の製造・販売を手掛けるハイテム(本社各務原市テクノプラザ、安田勝彦社長、電話0558・3885・0505)は、ベトナムのハノイ市郊外に新設される養鶏・鶏卵生産プラントのメイン設備を受注した。鶏卵生産能力は最大で一日当たり50万個。3月上旬に完成し、下旬から生産を開始する予定。当初は試験的に鶏卵生産を行い、採算性を検証しながら事業展開する。事業が順調に推移すれば、将来的に同規模のプラントをベトナム国内10カ所に拡大する計画。(各務原)

鶏卵一日最大50万個 10カ所拡大も視野

今回の養鶏・鶏卵生産プラントの整備は、ベトナムでコーヒー豆や動物用薬品の生産などを手掛けている企業が新規事業として計画した。現在は、ヒヨコを若鶏に育てる設備が完成し、今後は5万羽を飼育する鶏舎を12棟建設する計画。3月の完成後、採算性やオペレーションを検証す

る。事業として採算が見込めると判断されれば、将来的にベトナム国内で同規模の養鶏・鶏卵生産プラントを10カ所に拡大する計画。安田社長は「計画通りに進めば、ベトナム国内の鶏卵需要の約10%をカバーできる規模になる」と話している。ベトナム国民一人当たり



鶏舎に設置された専用設備

の養鶏場は1972年に約106万カ所だったが、少子高齢化の影響で、12年には約3千カ所まで減少しているためだ。

同社は、国内の厳しい状況を打開しようと、09年に中国・天津市に自社工場を建設。中国と東南アジア各国で、養鶏・鶏卵生産プラントの提案営業を積極的に進めてきた。昨年は、天津市を生産拠点とした鶏卵生産・販売プロジェクトが軌道に乗った。

今回のハノイ市の受注案

件は、東南アジアの鶏卵の消費拡大に向けた取り組みの試金石となる。安田社長は「経済成長を続ける東南アジア諸国では、まだ鶏卵の消費量が少ない。養鶏・鶏卵生産プラントの受注拡大により、鶏卵供給を豊富にすることで需要を喚起していく」と話している。